



仙 台 厚 生 病 院

NST便り・第2号

平成20年9月発行・NST委員会

編集担当：大内・荒川・斉藤



NST便り・第1号では、「NSTとは？NSTの目的と役割」について採り上げてみましたが、スタッフの皆様、興味・関心をもっていただけましたでしょうか？

NST活動の目的・役割としての「栄養不良患者の早期発見」「適切な栄養療法の選択」「栄養状態の改善による治癒促進」「適切な栄養剤・機材・ルートと管理法の選択」「無駄な合併症の防止による経済的効果」「栄養管理の改善による患者満足度の向上」などを図るため、今回のNST便り・第2号では、NSTラウンドの紹介やミニ勉強会の報告・今後の日程について紹介します。



ラウンド

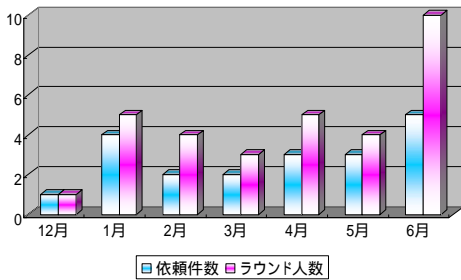
毎週水曜日16時から実施



僕が委員長の
中堀です！

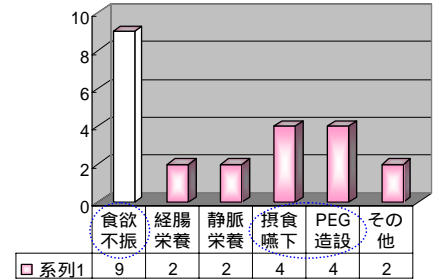
ラウンド件数

(平成19年12月～平成20年6月)



NST発足時から平成20年6月までの「NST依頼書」提出件数は20件でした。依頼内容として一番多いのが食欲不振となっています。右記項目以外でも症例に迷う時は遠慮なくNSTへ依頼をお願いします。

依頼内容(複数依頼)



院内ミニ勉強会報告とお知らせ

7月25日と8月5日の両日勉強会が開催されました。参加者の皆様ありがとうございました。次回は9月12日(金)17時30分～内容は「NSTと臨床検査」の予定です。今後も多くの方のご参加をお待ちしています。

検査部からのお知らせ

9月中旬頃からプレアルブミンが院内で測定できるようになります。プレアルブミンとは、現在使用されているアルブミンに対して、半減期が2日間と短いため肝臓での蛋白合成能の指標となり、患者の栄養状態の管理や肝機能障害の早期診断に有効です。プレアルブミンは動的栄養指標、アルブミンは静的栄養指標と言われています。

9月12日の院内ミニ勉強会でプレアルブミンについて講義予定です。ぜひご参加ください。

各診療科医師・研修医のご参加をNST委員会一同お待ちしております。





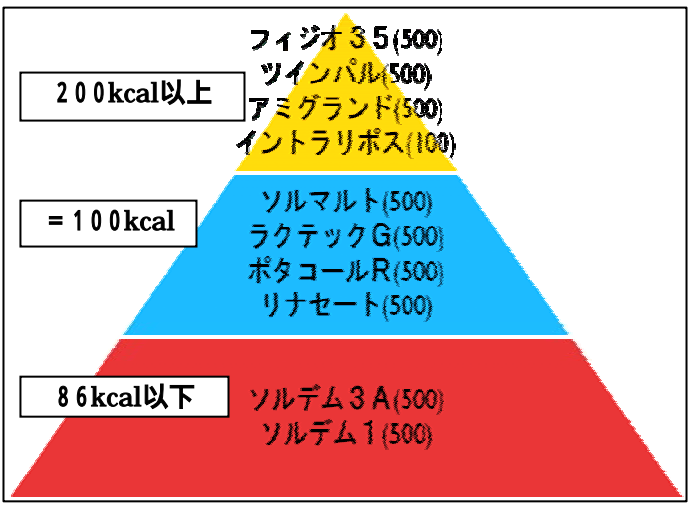
院内ミニ勉強会報告

7月25日と8月5日の両日勉強会が開催されました。
参加者の皆様ありがとうございました。



開催日: 7月25日
テーマ: 「経管栄養の実際」
講師: 消化器外科・深瀬

開催日: 8月5日
テーマ: 「輸液の基礎」
講師: 薬剤部・武田(知)



栄養管理が必要で、消化管が安全に利用できる患者さんはすべて経管栄養候補者となります。病態にあわせた栄養剤が各種そろっておりますので積極的に消化管を利用しましょう。(消化器外科・深瀬)

末梢輸液では必要水分量から見ると、上図のカロリーの高い輸液を用いても投与できるカロリーは1000kcal程度が限界です。このため末梢輸液は短期の栄養補給です。長期的にはカロリー不足となりますので注意が必要です。(薬剤部・武田)



医師・研修医の参加が初めて
ありました!

検査部からのお知らせ

9月中旬頃からプレアルブミンが院内で測定できるようになります。プレアルブミンとは、現在使用されているアルブミンに対して、半減期が2日間と短いため肝臓での蛋白合成能の指標となり、患者の栄養状態の管理や肝機能障害の早期診断に有効です。プレアルブミンは動的栄養指標、アルブミンは静的栄養指標とされています。

9月12日の院内ミニ勉強会でプレアルブミンについて講義予定です。ぜひご参加ください。

各診療科医師・研修医のご参加を
NST委員会一同お待ちしております。



NST委員会